

## (一社)日本家政学会中国・四国支部「令和4年度 優秀研究発表賞」の決定について

令和4年10月26日

一般社団法人日本家政学会中国・四国支部

優秀研究発表賞 選考委員長 星野裕之

昨年度より、(一社)日本家政学会中国・四国支部では、家政学に関する研究のますますの活性化や人材育成を目的に「**優秀研究発表賞**」を設けました。

今回、第68回 中国・四国支部大会（山口大会）の参加者から回答票をお送りいただき、本支部大会において研究発表をされた本支部会員より次の3名の優秀研究発表者を選出いたしました。選出に当たっては、審査結果の上位者を基に専門分野による不平等が生じないように配慮しました。

(一社)日本家政学会中国・四国支部 優秀研究発表賞の授賞内規に基づき、選考委員会の議を経て常任理事会に報告し授与することを決定いたしました。受賞者には、賞状と副賞を贈呈します。受賞者の益々の研究の御発展を祈念しております。

**広島大学大学院 宮川駿 氏**

研究発表の題目

『家庭科教員のオンライン交流の有効性に関する研究—教科観等への影響に着目して—』

**鳥取短期大学 古都丞美 氏**

研究発表の題目

『もち性大麦の搗精粒と未利用部位である外皮部分の栄養成分と抗酸化性の比較』

**広島大学大学院 周雨 氏**

研究発表の題目

『大学生の古着に対する意識と実態に関する中日比較研究』